

「命を守る」  
「命を守る」施策として、特定健診の無料化、ドクターカー導入に向けての準備、コンビニへのAED設置などが進められました。今後は市民の命、健康を守る観点から、がん検診の受診率向上に向けたさらなる努力を

「命を守る」  
「命を守る」施策としては、保育料の算定にかかる寡婦(夫)控除の見なし適用の実施、民間保育所への食物アレルギー対応支援、小学校3年生への35人学級の導入、学校司書の配置、中学生の学習支援、小中学校校舎のトイレ洋式化の推進、青少年の居場所の拡充・新設が行われました。

保育士不足による保育所の待機児童が発生したことについては、待機児童ゼロプランへの準備等へ踏み出しました。これらの取り組みについて評価しました。また、第五小・学童保育(留ま家庭児童会)で児童数が200人を超えたことによる施設の増設については、保護者の意見に早急に応えたとして評価しました。今後、35人学級については、しっかりと検証し、よかつた点を評価しさらなる推進を求めました。

「笑顔がひろがるまち寝屋川」  
職員配置については、課題があると指摘し、中核市移行については、現行のサービス水準を落とさないようにするため、専門職の確保と育成が重要です。今後も、現場の職員の声を聞き、市役所が市民のくらしを守る集団として力を發揮していただ

くことを求めました。  
小中一貫校の設置については、教育的効果やメリットなどが十分に検証されていません。今ある小学校を廃校にするという点でも、地域や保護者の合意を明し、慎重にすることを

前川議員は、2016年度一般会計歳入歳出決算認定から、下水道事業会計決算認定までの7会計の決算認定について賛成討論しました。

前川議員は始めに、2016年度は、北川市長による初めての当初予算編成であり、「政治は暮らしである」という理念のもと、「命を守る」「子どもを守る」を掲げた市長公約が守られたのか、という視点から審査しました。

「くらしを守る」施策としては、国民健康保険料の引き下げが行われ、市民の強い願いに応えたとして評価しました。その上で、保険料滞納世帯に対するペナルティーとしての短期証、資格証明書の発行をやめるよう求めました。とりわけ未満には正規の保険証を交付するよう求めました。

介護保険については、要介護認定の決定通知は期限を守つて速やかに



前川なお議員

12月議会が4日からはじめました。4日の本会議にて前川議員が2016年度の決算について討論を行いました。

と要望しました。

### 「子どもを守る」

「子どもを守る」施策としては、保育料の算定にかかる寡婦(夫)

控除の見なし適用の実施、民間保育所への食物アレルギー対応支援、小学校3年生への35人学級の導入、学校司書の配置、中学生の学習支援、小中学校校舎のトイレ洋式化の推進、青少年の居場所の拡充・新設が行われました。

保育士不足による保育所の待機児童が発生したことについては、待機児童ゼロプランへの準備等へ踏み出しました。これらの取り組みについて評価しました。



### 「くらしを守る」

「くらしを守る」施策としては、国民健康保険料の引き下げが行

われ、市民の強い願いに応えたとして評価しました。その後で、保険料滞納世帯に対するペナルティーとしての短期証、資格証明書の発行をやめるよう求めました。とりわけ未成年には正規の保険証を交付するよう求めました。

介護保険については、要介護認定の決定通知は期限を守つて速やかに

ました。中学校給食については、残さ率がわずかに改善したとはいえ、まだ3割弱と高い比率です。給食を「食育」と位置づけての働きかけとともに、生徒がおいしいと食べる中学校給食への改善を求めました。

また、いじめのない学校へ、関係機関と連携したさらなる取組を求めるました。地域においては児童虐待の予防と早期発見に全庁あげて取り組むよう求めました。

に出すよう求めるとともに、年金が減らされ改善したとはいえるが、まだ3割弱と高い比率です。給食を「食育」と位置づけての働きかけとともに、生徒がおいしくと食べる中学校給食への改善を求めました。

線と高宮ポンプ場の整備の推進など浸水対策、赤ちゃんと防災グッズの配布、全小学校の避難所に災害物品の整備を行なうほか、犯罪の防止では小中学校の夏休みの防犯パトロールが実施されました。

馬江大利線、東寝屋川駅前線、京阪本線連続立体交差事業、新ごみ処理施設の建設と、住民の健康被害の解消につながる廃プラ処理の見直しの検討、ごみ減量の推進のための市民アンケート調査、ごみ分析調査を実施するなど、市民の要望に応えて事業を進めたことにについても評価しました。

今後も教育委員会や関係機関と連携し、子どもが犯罪に巻き込まれることのないよう、安心安全なまちづくりへと要望しました。

まちづくりでは、対して事業を進めたことについても評価しました。今後はごみ減量の目標達成へ、さらなる取り組みの推進を求めるました。

「まちを守る」施策としては、古川雨水幹線と高宮ポンプ場の整備の推進など浸水対策、赤ちゃんと防災グッズの配布、全小学校の避難所に災害物品の整備を行なうほか、犯罪の防止では小中学校の夏休みの防犯パトロールが実施されました。

馬江大利線、東寝屋川駅前線、京阪本線連続立体交差事業、新ごみ処理施設の建設と、住民の健康被害の解消につながる廃プラ処理の見直しの検討、ごみ減量の推進のための市民アンケート調査、ごみ分析調査を実施するなど、市民の要望に応えて事業を進めたことにについても評価しました。

今後はごみ減量の目標達成へ、さらなる取り組みの推進を求めるました。

# 2016年度決算認定 前川議員が賛成討論を行う



発行  
日本共産党  
寝屋川市議員団  
072-824-1181  
(内線2399)  
FAX: 824-7760  
No.2968

石本えりな  
太秦元町9-2-203  
090-8937-1934

太田とおる  
高柳2-49-2  
080-3818-9722

中林かずえ  
宝町4-33  
090-3944-8385

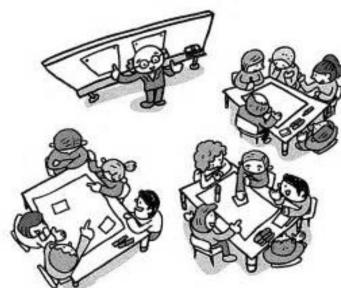
西田まさみ  
石津中町30-3  
090-9713-3588

前川なお  
萱島東2-16-11  
090-1025-7503

## 12月議会 一般質問



質問する西田議員



西田もともみ議員が質問  
小中一貫校については丁寧な説明を

# 小中一貫校について丁寧な説明を

## 西田もともみ議員が質問

12月13日の本会議で西田まさみ議員は小中一貫校等について一般質問を行いました。

西田議員は、寝屋川市で初めての施設一体型の小中一貫校。これまでと違った大きな変化を伴うこと、また、梅が丘校区については、学校がなくなるということは地域のコミュニケーションでも大きく変わる

ことが考えられます。

地域から学校がなくなることは地域にとって大きな損失になると見えます。もっと丁寧に保護者や地域住民に対して説明をしなくてはならないのではないか。また、施設一体型小中一貫校については、まだまだ関係者、市民の認識、理解が進んでいないと考え、質問しました。

西田議員は、寝屋川市で初めの一貫校等について施設一体型の小中一貫校。これまでと違った大きな変化を伴うこと、また、梅が丘校区については、学校がなくなるという

た、委員にどのように返していくのか。

**答** ワークショップのまとめについては、「(仮称)第4中学校区小中一貫校建設計画」公表前に委員に集まつていただき、説明をする。

**問** ワークショップでの意見を踏まえ、全市的な検討を行い、具体的な計画の策定を進めることだが、現在の進捗状況は。

**答** 現在全市的な連携のもと検討を行い、「(仮称)第4中学校区小中一貫校建設計画」の策定作業を進める。今年度中に策定する予定。

西田議員は、市民のまとめはいつどのように行われるのか。ま

う質問に対し、「デメリットがある部分を明確にして推進していくスタンスではなく、諸々の課題に対して先進市の事例を参考に、本市にふさわしい解決策を検討していきたい」と答

弁しました。すでに設置された小中一貫校では、様々なデメリットや課題が出されていますがそれらをどのように把握しているのか。

**答** 施設一体型小中一貫校のデメリットや課題については、先進事例や他市の取組状況等について調査を進めている中で、デメリットや課題の把握に努め、改善手法等の検討を行っていきます。

西田議員は、地域の自治会、地域協働協議会などの役員会も含め13回。保護者には学校ごとの3回のみ、これでは少なすぎる。保護者、地域住民の理解を得るには丁寧な説明が必要。新入生や今後入学予定の幼稚園児、保育園児等への説明はどのようにしていくのか。

**答** 未就学児も含めた保護者、地域への今後の説明会については、小中一貫校設置における要望や進捗状況に応じて、適宜開催する。

**問** 説明会で出された「子どもの意見を聞いてほしい」という要望にどのように応えるのか。

**答** 子どもたちの意見を各学校で把握していく方向で考えている。これまでどのように把握してきたのか、また今後どのように意見集約されるのか。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

12月13日の本会議で西田まさみ議員は小中一貫校等について一般質問を行いました。

西田議員は、寝屋川市で初めての施設一体

型の小中一貫校。これまでと違った大きな変化を伴うこと、また、梅が丘校区については、学校がなくなるという

ことは地域のコミュニケーション

で地域から学校がなくなることは地域にとって大きな損失になると見えます。もっと丁寧に保護者や地域住民に対して説明をしなくてはならないのではないか。また、施設一体型小中一貫校については、まだまだ関係者、市民の認識、理解が進んでいないと考え、質問しました。

西田議員は、寝屋川市で初めの一貫校等について施設一体型の小中一貫校。これまでと違った大きな変化を伴うこと、また、梅が丘校区については、学校がなくなるという

た、委員にどのように返していくのか。

**答** ワークショップのまとめについては、「(仮称)第4中学校区小中一貫校建設計画」公表前に委員に集まつていただき、説明をする。

**問** ワークショップでの意見を踏まえ、全市的な検討を行い、具体的な計画の策定を進めることだが、現在の進捗状況は。

**答** 現在全市的な連携のもと検討を行い、「(仮称)第4中学校区小中一貫校建設計画」の策定作業を進める。今年度中に策定する予定。

西田議員は、市民のまとめはいつどのように行われるのか。ま

た、委員にどのように返していくのか。

**答** 子どもたちの意見を各学校で把握していく方向で考えている。これまでどのように把握してきたのか、また今後どのように意見集約されるのか。

**答** 施設一体型小中一貫校のデメリットや課題については、先進事例や他市の取組状況等について調査を進めている中で、デメリットや課題の把握に努め、改善手法等の検討を行っていきます。

西田議員は、地域の自治会、地域協働協議会などの役員会も含め13回。保護者には学校ごとの3回のみ、これでは少なすぎる。保護者、地域住民の理解を得るには丁寧な説明が必要。新入生や今後入学予定の幼稚園児、保育園児等への説明はどのようにしていくのか。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

西田議員は、市民への説明は丁寧に行うことを希望します。

議員団



石本  
えりな

12月16日に小学3年生の長男の発表会

練習していました。

西田議員は、市民のまとめはいつどのように行われるのか。ま

た、委員にどのように返していくのか。

西田議員は、市民のまとめはいつどのように行われるのか。ま

た、委員にどのように返していくのか。

12月13日の本会議で西田まさみ議員は小中一貫校等について一般質問を行いました。

西田議員は、寝屋川市で初めての施設一体

型の小中一貫校。これまでと違った大きな変化を伴うこと、また、梅

が丘校区については、

学校がなくなるという

ことは地域のコミュニケーション

で地域から学校がなくなることは地域にとって大きな損失になると見えます。もっと丁寧に保護者や地域住民に対して説明をしなくてはならないのではないか。また、施設一体型小中一貫校については、まだまだ関係者、市民の認識、理解が進んでいないと考え、質問しました。

西田議員は、寝屋川市で初めの一貫校等について施設一体型の小中一貫校。これまでと違った大きな変化を伴うこと、また、梅が丘校区については、学校がなくなるという

た、委員にどのように返していくのか。

**答** ワークショップのまとめについては、「(仮称)第4中学校区小中一貫校建設計画」公表前に委員に集まつていただき、説明をする。

**問** ワークショップでの意見を踏まえ、全市的な検討を行い、具体的な計画の策定を進めることだが、現在の進捗状況は。

**答** 現在全市的な連携のもと検討を行い、「(仮称)第4中学校区小中一貫校建設計画」の策定作業を進める。今年度中に策定する予定。

西田議員は、市民のまとめはいつどのように行われるのか。ま

た、委員にどのように返していくのか。

**答** 子どもたちの意見を各学校で把握していく方向で考えている。これまでどのように把握してきたのか、また今後どのように意見集約されるのか。

**答** 施設一体型小中一貫校のデメリットや課題については、先進事例や他市の取組状況等について調査を進めている中で、デメリットや課題の把握に努め、改善手法等の検討を行っていきます。

西田議員は、市民のまとめはいつどのように行われるのか。ま

た、委員にどのように返していくのか。

西田議員は、市民のまとめはいつどのように行われるのか。ま

た、委員にどのように返していくのか。



練習していました。  
当日はたくさん

の保護者が参加しました。保護者がみて

いる中、緊張しているかと思うが、がんばつ

て練習していた成果が出ていたと思いま

た、委員にどのように返していくのか。

**答** ワークショップのまとめについては、「(仮称)第4中学校区小中一貫校建設計画」公表前に委員に集まつていただき、説明をする。

**問** ワークショップでの意見を踏まえ、全市的な検討を行い、具体的な計画の策定を進めることだが、現在の進捗状況は。

**答** 現在全市的な連携のもと検討を行い、「(仮称)第4中学校区小中一貫校建設計画」の策定作業を進める。今年度中に策定する予定。

西田議員は、市民のまとめはいつどのように行われるのか。ま

た、委員にどのように返していくのか。

西田議員は、市民のまとめはいつどのように行われるのか。ま

た、委員にどのように返していくのか。

**答** 子どもたちの意見を各学校で把握していく方向で考えている。これまでどのように把握してきたのか、また今後どのように意見集約されるのか。

**答** 施設一体型小中一貫校のデメリットや課題については、先進事例や他市の取組状況等について調査を進めている中で、デメリットや課題の把握に努め、改善手法等の検討を行っていきます。

西田議員は、市民のまとめはいつどのように行われるのか。ま

た、委員にどのように返していくのか。

西田議員は、市民のまとめはいつどのように行われるのか。ま

た、委員にどのように返していくのか。